

Memuro Town Assembly information

めむろ

議会だより

No.273 2025.5.12



特集

町政のここが聞きたい

一般質問

議会だよりの表紙は、
無限の可能性をイメージし
子どもを掲載しています。

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議（6月、9月、12月、3月）で一般質問することができます。3月定例会議の一般質問には、6人の議員が登壇しました。 *紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

地方創生における本町の姿勢と取組

- この5か年における主な実績と成果、新たに見えた主な課題は。
- 地方に仕事を作る施策では、特に町内企業、商店などの持続的な安定、経営が重要と考えるが、現状と課題の分析や今後の主な構想は。
- 労働力の確保について、「第3期戦略」における施策での位置付けと今後の主な構想は。
- 「拡大都市」と「縮小都市」のどちらでまちづくりを進めるべきか。



木村淳彦（きむら あつひこ）
議員



手島町長

- 人口減少対策として、産業振興や子育て支援、移住促進などを実施し、目標達成を評価しており、社会動態の改善も成果と認識しています。今後は地域産業力向上やデジタル化推進、労働力不足対策に取り組めます。
- 町内企業は物価高や人口減少、後継者不足などの課題に直面しています。今後は官民共創でまちなか再生を推進し、地域経済の活性化を目指します。
- 少子高齢化に伴う労働力不足が地域経済に影響を及ぼす中、安定した雇用環境の整備と人材確保が重要です。今後は雇用支援策を強化し、企業の課題解決に取り組めます。
- 第3期総合戦略は、異なるアプローチでの行政経営を重視し、DXやGX推進、官民共創、広域連携、人材育成を通じて政策効果の最大化を目指します。

一般質問を終えて
木村淳彦

2000年に地方分権一括法が施行され、権限の拡大が図られ、地方が主役となる時代が到来しました。しかし実態はそう簡単なものではなく、平成の大合併や正に地方創生における特別交付税の処置など、あらゆる面において中央集権が復活、拡大となりました。本来は国にものを申す、国と戦うことが地方創生、地方分権だと思えます。

人口減少、少子高齢化、それらに伴う税収減などに直面する中で、地域経済の在り方、地域の安全性、生きやすい生活環境整備、持続的な福祉など、町民が安心して住み続ける、楽しく、幸せな暮らしができる地域形態の実現に向けた地方創生であるべき、と考えます。

町民への丁寧な説明、情報交換、町長の言う身の丈にあった「まちづくり」の実現に向けて、町民と一体となり、取り進めて参ります。

ひきこもり支援／開町記念に関する事業

- ひきこもりの実態とこれまでの実態把握に向けた調査・確認等の取組実績は。
- 相談窓口設置前の課題に対して、どのような支援や取組を行い、また、相談窓口設置後にはどのような効果や成果が得られたのか。
- 今後のひきこもり支援についての取組と現時点での課題認識と展望は。
- 開町120年以降、記念式典の開催時期を見直したが、この間の取組は。
- 開町130年に向けた記念事業の構想と今後の記念事業の展望は。



渡辺洋一郎（わたなべ よういちろう）
議員



手島町長

- ひきこもり実態は、34名を確認し、18名に支援を検討中です。民生委員や学校との連携で情報収集を行い、個別支援を実施しています。
- ひきこもり相談窓口を周知し、新たに5名の支援対象者を把握しています。設置後は相談機会が増え、社会参加や就労支援の取組も進展しています。
- ひきこもり支援の新指針が策定され、社会的孤立を抱える人々への支援が強化されます。今後は基幹相談支援センターとの連携を進め、包括的な対応に努めます。
- 開町記念日を毎年10年ごとに見直し、功労者表彰式を開催しています。町の意義を広報し、記念日を周知しています。
- 令和11年に開町130年を迎え、記念式典を実施予定ですが、具体的な構想は未定です。また、町の発展を記録する記念誌の作成も考えています。

一般質問を終えて
渡辺洋一郎

「ひきこもり支援」については、実態把握の掘り起こしや窓口の周知が十分ではなく、支援につながっていない当事者や家族も多くいると思います。まずは本町の実態をしっかりと把握することが支援体制構築には重要ではないかと提案しました。また、適切な窓口等の周知によって、その方のタイミングで相談できることにつながると思っています。

「開町記念事業」については、今年で125年を迎える本町ですが、開町記念式典を令和11年に開催すること、「町史」について発行することが明らかになりました。町史作成にあたっては、関係団体等との意見交換など丁寧に進めていただきたいと提案しました。

また、町の歴史について、町民がわかりやすく知ることができるよう、デジタルも活用した取組について検討していただきたいと提案しました。

どちらのテーマについても引き続き取り組んでいきたいと思えます。

第3回議会改革諮問会議

諮問会議の内容はこちらから→



4月16日（水）に、現在議会で検討している「新たな定数と報酬」の概要を基に、委員と議員との意見交換を行いました。

意見を通じて、住民（諮問会議委員）と議会（議員）側の双方の考え方を確認する貴重な機会となりました。

【主な質疑応答】

Q「多様な人、特に若い世代の声を聞く場が必要なのでは？」

A「若年層を対象とした議員塾のような取組には必要性を感じているが、まだ実現には至っていない」

Q「物価高等の影響を考慮し、報酬は月額30万円は必要なのでは？」

A「議会内では職員の平均給与月額と同等の30万円という意見が多かった」

Q「賞与（期末手当）の年1回の支給方法について、どのように考えているのか？」

A「報酬と合わせ見直しをする予定である」



ホットボイス

議会に願う！町の姿勢を質す議論をしてください

ご意見（3月25日受理）

2024年12月に町のホームページで公開された下記の投書について、町の回答に対して議会にお願いしたいことがあります。

- 「町内会と神社の関係性について」
- 「町内会と氏子会の関係性を示す情報が欲しい」

どちらの投書も以前から課題となり続けている「町内会と神社との関係の問題」について、相談や要望が呈されたものですが、それに対する町からの回答があまりに「ずさん」と感じられます。投書者の意図から明らかにかけ離れた的外れな対応です。慎重と正確を期さねばならない行政の仕事として、あまりに不正確であり不適切です。

このことから、芽室町議会に対して、次のことを要望します。

- ①町の町民への向き合い方、応答責任の果たし方がどうあるべきかを議論してください。
 - ②町の広報公聴行政の公正性、適切性について議論してください。
 - ③町の町内会関連施策のあり方について議論してください。
- ※内容を要約して掲載しています。（50代）

回答日（4月3日）

このたびは、貴重な御意見をありがとうございます。お寄せいただいた趣旨を踏まえて、議会としての使命と役割を改めて精査・検討させていただきました。

その結果、先般（2月15日）、議会が主催して実施した「議会フォーラム（議会報告と町民との意見交換会）」は、町内会等の自治活動に対する住民意識が低下する中、新たな地域コミュニティのあり方をテーマに企画したものであり、今後は「町の町内会関連施策のあり方」を含めて、所管委員会等で調査研究に取り組むことを検討する予定です。

なお、町民の声に対する町の回答や姿勢については、議会の権限及び役割を踏まえると直接関与すべきものではなく、議会は、町の政策の最終決定及び行財政運営や事務事業に対する監視とチェックを主たる使命として真摯に取り組んでいくべきと考えておりますので、御理解をお願いします。

一般質問

子どもの権利が尊重されるまちづくり

- 1 子どもの権利条例の認知度向上のための、これまでの主な取組や課題と今後の方策は。
- 2 子どもの権利条例制定により、子育て支援体制が充実し、環境が向上した成果と今後の展望は。



- 1 新たな取組として、就学時健診資料配布や育つ権利の啓発を行い、条例の認知度向上に努めています。今後は子ども自身の理解促進も重視し、継続的な啓発を進めます。
- 2 子どもを権利主体と認識し、意見を反映する姿勢が浸透し、子育てしやすいまちづくりに繋がっています。今後も子どもの権利を守る施策を重視し、安心して子育てできるまちを目指します。

一般質問を終えて 堀切 忠

全国のいじめや虐待件数は令和5年度、過去最高を更新しました。本町においても虐待件数は横ばいですが、いじめはR4、R5と急増しています。

いじめの急増や虐待が減らないのは、子どもの権利に対する理解が低いことが根底にあると考えます。「子どもの権利条例」の周知・啓発活動に今以上に力を入れることが必要と考えます。

また、子どもの権利が守られているかを行政から独立した立場でモニターし、調査や勧告する権利を持つ権利擁護機関（公的第三者機関）「子どもオンブズパーソン」を設置してはどうかと提案しました。

地域に根ざす子どもを育む持続可能なまちづくり

- 1 コミュニティ・スクールや芽室ジモト大学のこれまでの主な取組実績と成果は。
- 2 中高生が地域で活動できる居場所づくりのこれまでの課題認識や取組実績と今後の展望は。



- 1 町と教育委員会が連携し、次世代人材育成や地域活性化を進めています。コミュニティ・スクールやジモト大学を通じて、世代間交流や地域とのつながりが深まり、町の課題解決にも寄与しています。
- 2 中高生の放課後や休日の居場所が少ないのが課題です。ジモト大学の「中高生の放課後プログラム」を試験的に実施し、今後は教育委員会と連携し、居場所の必要性を整理していきます。

一般質問を終えて 立川美穂

令和2年3月定例会議で行った一般質問答弁の追跡として今回質問を行いました。

その翌月から新設された魅力創造課が、異なる機関や地域との繋ぎ役となり地域が子どもの学びや育ちの場となる活動がこれまで進められてきました。

次世代の人材育成や地域活性化の観点から、居場所づくりを含む「中高生への関わり」について何度か歴代町長の考えを質してきましたが、コミュニティ・スクールやジモト大学の活動を通じ、子どもたちが地域の大人たちと共に活動することの意義や成果を実感できるようになりました。国も補助制度を設けこどもの居場所づくりを推進しています。中高生の声を聴きながら子どもの主体的な活動拠点となり得る居場所づくりの取組推進に期待しています。

喫緊の課題である斎場整備

- 1 物価上昇を踏まえた概算費用と財源確保の状況は。
- 2 近隣自治体との連携は。
- 3 具体的な整備スケジュールは。



- 1 斎場整備の概算費用は基本計画では約4億8千万円と算出していますが、物価上昇で4割増加し、更なる増加も見込まれます。財源は公共施設等総合管理計画との整合を図り、効率的な運営と費用削減を検討します。
- 2 近隣自治体との連携や共同整備については、公共施設等総合管理計画との整合を図り、効率的な運営と費用削減を検討します。
- 3 令和7年度中に、斎場整備の具体的な進め方（整備手法、連携など）と、着手するタイミングを決定し、その後速やかに基本設計に入ることを目指します。

一般質問を終えて 正村紀美子

斎場は築47年で老朽化が進み、早急な建て替えが必要です。故人を厳かに送り、遺族が心静かに別れをするための場として、落ち着いた雰囲気とバリアフリー環境は不可欠です。

町は令和2年に基本計画を策定し、財源確保や広域化を検討していますが、着手時期は未定です。今年度中に着手条件を整理することですが、町民の期待に応えるためには、より明確な見通しが必要です。建て替えには多額の費用がかかるため、財源確保と同時に、近隣自治体との連携も早急に進めるべきです。

高齢化が進む中、誰もが安心して利用できる斎場の実現は、地域の重要な課題であり、未来への責任でもあります。

ハラスメント対策の実態と認識

- 1 各種ハラスメントを防ぐために必要な対策について、これまでの成果や課題と今後の取組は。
- 2 職場におけるハラスメント対策の充実について、現状や課題と今後の取組は。
- 3 脱ハラスメントの実現に向けた今後の取組は。



- 1 ハラスメント防止要綱を策定し、迅速な対応を目指しますが、訴えにくい課題も残ります。今後は制度の周知と安全な職場環境の確保に努めます。
- 2 職員の責務を明確にし、ハラスメント対策を強化しています。今後はストレス軽減や情報共有を進め、意見交換できる環境を整備します。
- 3 職員は法の趣旨を理解し、意識改革を進め、ハラスメント対策に取り組みます。

一般質問を終えて 菊池秀明

今回の一般質問では、町のハラスメント対策の実態と認識について、これまでの取組と課題認識の確認を行い、脱ハラスメントに向けた町の考えを伺いました。これまでの町の取組は、「芽室町職員のハラスメント防止等に関する要綱」や「芽室町行政対象暴力対応マニュアル」の作成を行い対策しているとのことでした。課題としては、取組について全ての職員に対し情報が行き届いていないことや、ハラスメントに対する認識に差があるとのことで、継続的な制度周知や研修等により対策を強化していくとのことでした。私からは、「組織としてハラスメントを容認しないこと」を明確に内外に示す意味で、条例の作成の必要性を説き、脱ハラスメントにおける町長の思いを伺いました。

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時	休憩時間	実質時間	議 件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
		会議時間					
全員協議会	第21回	4月10日 9:30～10:01	0:00	0:31	1. 広報機能の拡充について 2. 令和7年度議会モニターの委嘱について 他	1	11
議会運営委員会	第29回	4月3日 9:30～10:31	0:15	0:46	1. 議会だより4月号の編集について 2. 議会だより5月号の編集企画について 他	1	11
	第30回	4月16日 9:30～10:04	0:00	0:34	1. 議会だより5月号の編集について 2. 議会だより6月号の編集企画について 他	1	12
編集企画会議	第12回	4月10日 10:45～10:55	0:00	0:10	1. 議会だより5月号の編集について 2. 議会だより6月号の編集企画について		※
合計		2:16	0:15	2:01		計3	平均11.3

※インターネット中継を実施しなかった会議

公表

議長交際費執行状況

令和6年度の議長交際費の執行状況を公表いたします。

支出日	支出項目	区分	金額(円)
5月7日	視察等対応用お茶代	渉外費	5,184
5月12日	「東京・芽室ふるさと会」発会式及び懇親会費	渉外費	7,000
5月10日	議員研修会講師夕食代	渉外費	5,500
5月23日	芽室町東工業団地親交会野遊会会費	渉外費	500
6月14日	トレーシー市国際交流訪問団との交流会会費	渉外費	2,000
6月16日	陸上自衛隊第五旅団創立20周年・帯広駐屯地創設73周年記念行事会費	渉外費	4,000
6月28日	議員研修会講師夕食代	渉外費	900
6月29日	芽室町東工業団地親交会パークゴルフ大会参加料	渉外費	500
7月1日	芽室町議会行政視察の際の土産代	渉外費	3,000
7月4日	総務経済常任委員会先進地事務調査の際の土産代	渉外費	9,000
7月8日	視察等対応用お茶代	渉外費	5,184
7月12日	厚生文教常任委員会先進地事務調査の際の土産代	渉外費	6,000
7月20日	日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念式典及び祝賀会会費	渉外費	6,000
7月31日	英語指導助手歓迎会会費	渉外費	3,000
8月31日	第37回発祥の地杯全国大会レセプション会費	渉外費	2,000
11月14日	第19回マニフェスト大賞意見交換会会費	渉外費	10,000

支出日	支出項目	区分	金額(円)
11月13日	令和6年度事業に係る関係機関協議の際の土産代	渉外費	6,000
11月17日	芽室町どんぐり会結成50周年記念祝賀会会費	渉外費	3,000
11月22日	揖斐川町関係者との交流会会費	渉外費	4,000
1月21日	市町村行政懇談会及び市町村新年交礼会会費	渉外費	9,000
1月24日	芽室東工業団地親交会定期総会会費	渉外費	3,000
1月29日	芽室町商工会新年交礼会会費	渉外費	1,000
1月27日	合同委員会・新嵐山スカイパーク調査特別委員会行政視察の際の土産代	渉外費	6,000
2月1日	視察等対応用お茶代	渉外費	594
2月10日	視察等対応用お茶代	渉外費	2,851
2月15日	議会フォーラム講師夕食代	渉外費	5,000
計			110,213

区分	区分	金額(円)
渉外費	26件	110,213
慶祝	件	0
弔慰	件	0
計	26件	110,213



表紙写真の裏側

4月半ばに子育て支援センターにお邪魔しました。先生がお子さんたちの遊びを見守るなかお母さんたちも安心しておしゃべりを楽しめたようです。

6月定例会議のご案内

2日	9:30～	初日
17日	9:30～	一般質問
18日	9:30～	一般質問
20日	9:30～	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える!

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)



インターネット中継はコチラから視聴できます▲
(過去の録画もあります)

編集後記

■入学式や入社式の話から一か月経っています。近年は退職代行サービスと言われるビジネスがあるそうですが、入社一か月もたずに退職される方もこの代行サービスを利用されるらしい。便利な世の中ではあるが何となく切ない気持ちになるのは古い人間だからだろうか？



早苗豊

■先月の米国トランプ大統領の関税引上げ問題により、農業をはじめとする一次産業にも暗雲が立ち込める経済状況となっています。また、10数年先に予想される少子高齢化問題も踏まえ、子どもたちの未来を真剣に考える必要があります。誇れる芽室町、日本を指し、町民の意見も聞きながら頑張るときが来ていることを実感しています。



小笠原等

■初めての議員として迎える3年目の始まりです。立候補した時の気持ちは変わりませんが、議会を外から見ると議員としての視点には少し差があることに気づきました。これから町はさまざまな事業を進めていきますが、住民の福祉向上のためには社会の状況変化にしっかりと対応した事業展開が必要だと思えます。議員として、町からの提案に迅速に判断できるように地力をつけていきたいと考えています。



伊藤稔

LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介

スマートフォンサイト



公式X (旧Twitter) アカウント
@memuro_gikai



公式Facebookページ
https://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中!